

<2022年10月13日発表>

西鉄グループで“レトロフィット電気バス”の 製作を開始します！ ～電気バスの全国への普及に向けて～

- 西鉄グループでは、西鉄車体技術㈱(本社:佐賀県三養基郡基山町、代表取締役社長:下津俊幸)において、レトロフィット電気バスの製作を開始するとともに、完成した電気バス 2 台を福岡地区へ導入いたします。
- 当社グループでは、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル達成」に向け、脱炭素社会を実現するため、住友商事㈱と連携しながら、高性能・低価格な電気バス「レトロフィット電気バス」を開発し、2022年6月より小倉自動車営業所で運行を行っております。当バスは、従来の電気バスよりも航続距離が長く、CO2削減効果が高いことに加え、低価格での導入が可能であることが特徴です。
- レトロフィット電気バスの製作は、台湾最大手電気バスメーカーRAC Electric Vehicles(以下「RAC」)より設計や改造などの技術指導を受け、西鉄車体技術㈱が持つバス車両改造等のノウハウを活かして製作を進めてまいります。なお、電気バスの製作・導入にあたっては、国土交通省および北九州市の補助金を活用いたします。
- 完成したレトロフィット電気バスは、2023年3月頃、福岡地区に導入し、試走を実施したうえで、4月以降、営業運行する予定です。来年度以降も、当社グループ内の営業所へレトロフィット電気バスの導入を進めてまいります。
- 当社グループでは、SDGsの達成に向け、サステナブル経営を実践し、脱炭素に向けた取り組みを強化してまいります。また、本取り組みを通して、電気バスの導入を拡大するとともに、高性能・低価格な電気バスの全国への普及を目指し、にしてつグループ一丸となって取り組んでまいります。

■ レトロフィット電気バスの製作について

- 【製作会社】 西鉄車体技術㈱
- 【製作指導】 RAC Electric Vehicles (RAC)
- 【製作期間】 2022年10月～2023年3月(予定)
- 【スケジュール】 <10月～12月>
 - ・部品発注(台湾:RAC社より)
 - ・中古バスのエンジン脱着<12～3月>
 - ・RACからの技術指導
 - ・レトロフィット電気バスの組み立て<3月頃>
 - ・試験走行
- 【台数】 2台
- 【製作費】 約27,000千円/台(内、補助金8,000千円※)
※補助金は2台中1台のみ



■ レトロフィット電気バスの導入について

- 【導入営業所】 西鉄 片江自動車営業所（福岡市城南区）
【使用路線】 天神・博多を経由する路線（油山急行線など）
【運行開始】 2023年4月（予定）
【導入台数】 2台

■ 補助金について

- 【補助金名】 ①令和4年度地域交通グリーン化事業（国土交通省）
②北九州市環境未来技術開発助成金（北九州市）
【助成事業】 ①令和4年度自動車環境総合改善対策費補助金事業（国土交通省）
※レトロフィット電気バス改造工事費
②中古の国産ディーゼルバスを国内で電気バスに改造するための技術移転（北九州市）
※RACからの技術移転費用
【補助金交付額】 ①約8,000千円
②約6,000千円

（参考）西鉄車体技術株の概要

- 【設立年月日】 1956年1月24日
【所在地】 佐賀県三養基郡基山町大字長野 308-5
【代表者】 代表取締役 下津 俊幸
【事業内容】 車両改造、バス新車改造、中古バスリニューアル、バス車体修理、バス部品販売など
【資本金】 20,000千円
【従業員数】 101名（2022年4月1日現在）
【株主】 西日本鉄道株式会社



（参考）SDGsへの貢献

当社では、本リリースの取り組みを通して、以下のSDGsの目標に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター（TEL:0570-00-1010）まで